

活動報告書

団体名：相模原こもれび

活動場所	E地区、資材倉庫	記録者	平野和夫
活動日時	令和2年1月22日(水) 9時~14時30分	天候	曇り/晴れ
参加者	浅川、天津、内間、海野、北村、黒岩、佐藤保、杉山、田中、田村、鳥飼、野口 野々村、長谷川、平野、本田、松浦、目黒一亥・奈々枝、前原(本日入会)	(敬称略)	計20名
活動内容	活動地整備、フェア準備(木工材料準備)		
使用道具	チェーンソー、斧、手鋸、皮むき		
機器操作者	チェーンソー		
	黒岩、佐藤保、杉山、野々村、平野、本田		
作業内容	枯損木伐木、林床片付け、サワラ皮むき		

<伐木OJT研修> ベテラン会員の指導による安全伐木手順を研修した。



① 切断位置マーキング



② 受口作り



③ 受口完成



④ 追口切り



⑤ 楔の打ち込み 方向調整しながら倒していく



⑥ 伐木終了

●次回の予定 定例活動日

2月8日(水) 活動地整備

●当面の予定

定例活動: 2月16日(日)、26日(水)

●イベント

2月8日(土) 大和ハウスCSR活動支援

2月22日(土) ジュニアボランティア

2月29日(土) シイタケホダ木ゲット

報告事項・トピックス

- ◆引き続きE地区内で道路・散策路に影響する枯損木を20本伐木した。大径木の下部で育ったものの、太陽光の争奪戦に負けて枯れたと思われる小径木が多い。本来は大径木を伐採し若い木を育てて新陳代謝を図りたいところだが育ちすぎた大径木の伐採が困難なこともあり台風の強風で中折れするのを待つしかないのか。森林の世代交代方法の検討と実施の必要性を痛切に感じている。
- ◆引き続き木工品材として利用できるサワラの玉切り材の皮むきを行った。